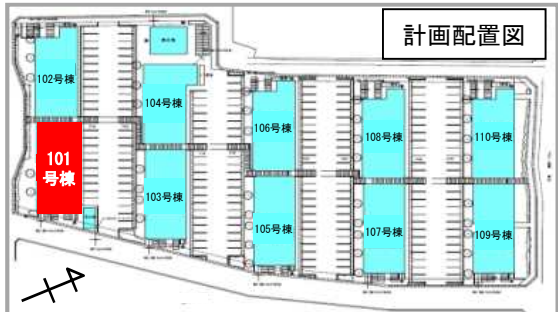


バリアフリー化・居住性向上による誰もが住みやすい県営住宅へ

— 桜川西アパート建替事業 (水戸市) —

【事業概要】

昭和43年～44年に建設された住棟15棟157戸を、長年の使用による老朽化や設備の陳腐化などから、10棟160戸に建替える計画 (平成28年度～)



【桜川西アパート101号棟】

- 所在：水戸市河和田町地内
- 構造：鉄筋コンクリート造
- 階数：4階
- 戸数：16戸
- 延床面積：約1,114㎡
- 駐車場：20台 (車椅子対応1台)



県営住宅の整備方針① ～バリアフリー化の推進～

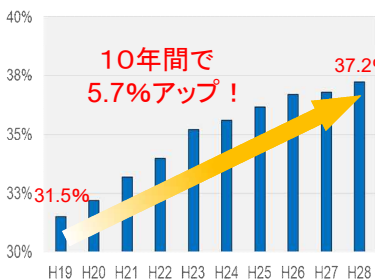


- 玄関や浴室、トイレに手すりを設置し、安全に使用できるように計画しました。
- 室内の段差解消やエレベーターの設置により、建物全体でスムーズな移動が可能となるよう計画しました。



- 県営住宅のバリアフリー化率は、平成28年度時点で、37.2%となっており、今後も向上を図っていきます。
- ※ バリアフリー化率は、浴室やトイレなどへの手すりの設置、居室間や廊下との段差解消などを行った住戸数の割合

県営住宅バリアフリー化率推移



県営住宅の整備方針② ～居住性の向上～



- 狭小だったキッチンやダイニング及び浴室などが、使いやすい空間となるよう計画しました。
- 外部に面する壁の内部には断熱材を施し、サッシには複層ガラスを採用することで、空調エネルギーの削減や遮音性の確保を図り、快適な空間が実現できるよう計画しました。
- また、建物の設計時に住宅性能評価を取得し、断熱等性能基準(等級3)等を満たす仕様となっています。